

あなたの住むまちの「社協」はどこにあるか知っていますか？

社会福祉協議会(略して「社協」)は、全ての都道府県と市区町村に設置されています。地域に暮らす人や社会福祉の関係者、行政などの協力を得て、高齢の人も、障がいがある人も、そうでない人もみんなが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指す民間の組織です。

「社協」では、地域で暮らす人が抱える様々な問題を、地域全体の問題として、みんなで考え、話し合い、協力して解決できるように活動しています。また、地域のボランティアと協力し、高齢者や障がい者、子育て中の親子が気軽に集まり、仲間づくりや生きがいづくりを目的とした「サロン活動」や、小中高校における福祉の取組への支援、ボランティア活動に関する相談や活動先の紹介などを行っています。



このマークは、
社会福祉協議会の
シンボルマークです。

思いやりの『こころ』を育てる取組

～清水第六中学校の認知症サポーター養成講座～

静岡市清水区にある清水第六中学校では、平成26年7月3日に1年生の全6クラス200人を対象に「認知症サポーター養成講座」を実施しました。これは、総合学習の一環として7月3日の1日全てを「福祉を学ぶ日」として学校で位置付けて、本講座のほか、車いす体験と高齢者疑似体験(シニアシュミレーター)の取組も行いました。

「認知症サポーター養成講座」は、認知症を正しく理解し、偏見なく認知症の人やその家族を温かく見守る応援者を養成する目的で、認知症の症状、接する時の心がまえ等を学びます。

終了後は、生徒一人ひとりが講座を振り返る、事後学習として新聞づくりを行いました。その中の感想では、「一緒に暮らすおばあちゃんはまだまだ元気です。これからはこまめに話しかけたり、一緒に遊んだりして、快適に暮らせるようにしてあげたいです。」といった意見があり、同居するおばあちゃんへの思いやりや優しい気持ちが芽生えたようでした。また、「認知症は周りの人の接し方によって症状が改善したり、逆に悪化してしまうことを学んだので、これからは認知症の方に会ったら、失敗を恐れずに理解できるようにしたい。」との意見もありました。

本校ではこのほか、福祉委員の活動も活発に行っており、地域住民の協力を得ながらペットボトルキャップの回収や赤い羽根共同募金の運動を行っています。また、8月に発生した広島市の豪雨水害では、生徒からの提案で広島市の復興のため、義援金の募集も行っています。

これからの、清水第六中学校の福祉教育の取組に期待したいと思います。



あなたも認知症サポーターになりませんか？

各市町村では認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、地域や学校などで認知症サポーター養成講座を行っています。認知症の基礎知識や接し方の心がまえを学びます。

講座終了後には、サポーターの目印『オレンジ・リング』をプレゼントしています。詳しい内容等は各市町村の福祉担当課へお問合せください。



(文責 地域福祉課)

社会福祉 しずおか

平成26年 No.767 毎月1日発行 1部 50円
発行 平成26年10月1日

10

No.767
2014 特別号

社会福祉しずおか10月号は特別号として
県内の中学生の皆さんにもお届けします。



編集発行
社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 〒420-8670 静岡市葵区駿府町1番70号
電話：054-254-5248 F A X 054-251-7508
http://www.shizuoka-wel.jp E-mail spcsw@shizuoka-wel.jp

福祉について考えよう

“暮らし・安心・支え合い” 福祉のまちづくり県民運動

皆さんは「県民福祉の日」を御存じですか？

私たちの住む静岡県では、全国に先駆け、今から20年以上前の昭和63年に、1月1日から数えて294日にあたる**10月20日**を「**県民福祉の日**」としました。

これは、「294(福祉/フクシ)」の語呂合わせに由来し、年に一度この日には、県民の皆さんに福祉について考えてもらおうというものです。制定当時の斉藤滋与史県知事は、「県民の一人ひとりが福祉の意義を考え、行動し、人間らしく豊かに生きることができる、福祉社会の実現に向かっていきましょう」と宣言し、**物の豊かさだけでなく心の豊かさにあふれた福祉社会づくり**を訴えました。

また、平成22年にはシンボルマークもできました。このシンボルマークは、静岡の英文頭文字「S」をモチーフに、「富士山」と福祉のシンボル「ハート」を用いて「S」の文字を描き、その中に手をつなぎ、笑顔で助け合い、福祉のまちづくりに努力している人を表しています。

現在は、この「**県民福祉の日**」を中心に、誰もが安心して暮らすことのできる“共生・支え合い”による地域社会の実現を目指して、“**暮らし・安心・支え合い**” **福祉のまちづくり県民運動**として、毎年様々な取組を行っています。

今年度は、その取組の一環として、福祉に関心を持つきっかけとなるよう、健康福祉大会や社会的孤立防止のシンポジウム、絵画コンクール、啓発ポスター、静岡駅地下道のショーウィンドウを利用した啓発物の掲示や福祉カレンダーの作成などを行います。



平成26年度 静岡県健康福祉大会のお知らせ

【日 時】平成26年10月24日(金) 午後1時～4時

【会 場】静岡市民文化会館 大ホール
(静岡市葵区駿府町2番90号)

- 式典
- 講演 テーマ「からだ上手 ころころ上手」(仮題)
講師 齊藤孝氏(明治大学教授)

●授産製品販売コーナーほか



福祉のまちづくり県民運動のシンボルマーク

福祉のしごと人 インタビュー!



特別養護老人ホーム 聖ヨゼフの園 介護課
花村 麗香さん

私が介護のお仕事に就こうと決めたのは中学生の頃でした。

“人の役に立ちたい”と考えてのことでした。高校の福祉科を卒業し、実際に働き始めると、最初は戸惑いの連続でした。食事や排せつのお手伝いもその方その方に合った方法があり、言葉遣いや接し方を含めて、人の暮らしを支えるということがとても難しく感じられました。そんなときに支えてくれたのが先輩や周りの職員さんです。相談し、一緒に考えてくれる仲間がいることで安心して働くことができました。今は利用者さんからの「ありがとう」の言葉や笑顔がとてもうれしく、時々起こるユニークな出来事がとても面白くて、大変ながらも毎日笑って働いています。介護は自分も成長できる、とてもすてきなお仕事です。



竜南保育園 孕石 結花さん

子どもが好きという単純な理由で、小学校の頃から保育士を目指していました。

子どもたちが毎日楽しく過ごし、成長できるように、わたしたちは一緒に遊びながら見守り、生活しています。

毎日子どもたちを見ていると、日々変化していることがわかります。できないことができるようになったり、話すことができるようになったりしています。特に自分が教えてきたことができるようになると、嬉しく思います。また、保護者の方へのサポートも大切な仕事です。

笑顔が絶えない、とてもやりがいのある仕事です。



社会福祉法人
農協共済 中伊豆リハビリテーションセンター
自立支援部 自立訓練課
深沢 溪太さん

私は、障害者支援施設において理学療法士として従事しています。施設における理学療法士の役割は、利用者様と一緒に暮らしやすいような生活をデザインすることだと思っており、そのために、身体のサポートや環境の整備を支援するものだと思います。

私は、理学療法士として、「生活をデザイン」する事が一番大きなやりがいだと感じています。

そんな私が理学療法士を目指したきっかけは、兄がけがをした際にリハビリ訓練を担当してもらった理学療法士に憧れたことによるものです。また、その時の感動は現在の仕事にも大きな影響を与えています。

興味を持った方は是非、一緒に働きましょう!

福祉の仕事紹介

～身の回りで福祉の仕事を見つけてみよう～

保育のしごと

保育所などの児童福祉施設で、子どもたちの保育にあたります
保育士



保育所、児童福祉施設

管理・運営のしごと

施設をまとめ運営・管理していく
緑の下の中からもち
施設長、事務員



看護・保健・医療のしごと

看護師は病院のほか、社会福祉施設、在宅サービスの事業所で、からだや心の悩みの回復をお手伝いします。
看護師



高齢者福祉施設、病院

リハビリのしごと

福祉施設やリハビリ施設などからだの機能に障がいのある方に対し、からだの機能回復を図り、社会復帰をサポートします。
理学療法士、作業療法士



リハビリテーションセンター

相談・援助・調整のしごと

一人ひとりの悩みを聞き、課題解決に向けて計画をつくり実行します。
社会福祉士、生活相談員、
ケアマネージャー、生活支援員、
ボランティアコーディネーター



福祉事務所、社会福祉協議会

介護（ケアワーク）のしごと

高齢者や障がいのある方の生活をサポートします。
介護福祉士、
介護職員、訪問介護員、
ケアワーカー



在宅高齢者のお宅

栄養・調理のしごと

栄養士は、福祉施設、病院などで利用者にあわせた栄養や食生活の改善、アドバイス、調理などを行います。
栄養士、管理栄養士、調理員



障がい児・者施設

磐田市南部地域包括支援センター 干場 翔平さん

中学生の時に地元の社会福祉協議会のワークキャンプに参加し、“福祉”という世界を初めて知りました。現在は相談にかかわる仕事を担当しています。

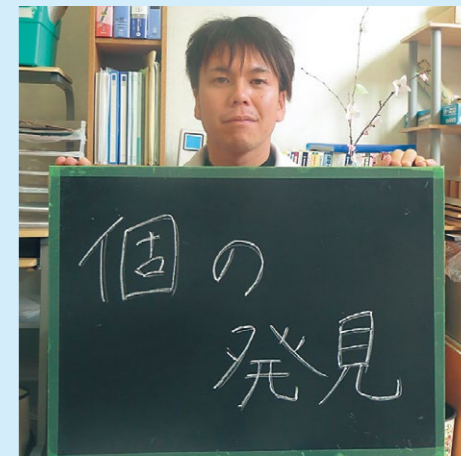
相談者に寄り添いながら一緒に考え、一緒に悩みながら仕事をしています。相談者の少しの変化でも自分のことのように喜びを感じたり、悲しみを感じたりしています。時には私が想像していた以上の変化もあり、新たな発見、新たな勉強となっています。

新たな世界・分野を知ることは勇気があることかもしれません。しかしそれが新たな興味・関心となり、自分がやってみたくことになるかもしれません。勇気を出して新たな世界に踏み出してみてくださいね。



色々な病気や障害を抱えている高齢者の生活の質を高くお手伝いが、現在私が行っているお仕事です。生活の中で困っていることなどを聞き、少しでも過ごしやすいうようにアドバイスや、お手伝いを行っております。また、少しでも楽しく、笑いのある生活を送っていただければと思います、利用者さんと接しています。

私の中学時代は特に夢や目標はありませんでした。私がこの作業療法士というお仕事を知ったのは高校時代です。しかも進路選択時です。今後、みなさんも色々な人と接して、色々な職業を知って選択できればよいかと思います。



介護老人保健施設おおひら
作業療法士
小野 篤志さん